

開館 20 周年・真下慶治生誕 110 年記念
年間スケジュール 令和 6 年度（2024.4 - 2025.3）



『大淀の眺め』 1973年（昭和48年）制作 F80 村山市大淀 おおよど

『大淀の眺め』は、第5回改組日展に出品した作品です。1971年真下は村山市大淀にアトリエを建て、翌年には山形大学教育学部教授を退官。画業に専念する覚悟を決めた記念碑的な作品です。真下慶治58歳でした。赤い屋根の大淀のアトリエは、今も最上川美術館のテラスから眼下に望むことができます。

今年度、開館20周年・真下慶治生誕110年を記念して「真下慶治—画家の生涯—」をテーマに最上川Ⅰ～Ⅳまで4期に分けて展示します。画業60年余りの殆ど全てを最上川を描くことに捧げた画家・真下慶治の生涯と静謐な冬の美の世界をご鑑賞ください。

- ・最上川Ⅰ～雪上に立つ～「雪の大淀」
- ・最上川Ⅱ～人々の暮らし～「左沢の最上川」
- ・最上川Ⅲ～光・水・雪～「雪の隼の瀬」
- ・最上川Ⅳ～春待つ心～「大淀の春」

秋の最上川芸術祭では、「最上川展～小松均・真下慶治が愛した母なる川～」と題し、全館を挙げて日本画、洋画2人の画家が生涯をかけて描いた壮大な母なる最上川の悠久の時の流れをゆっくりとご堪能ください。

今年度も数多くの充実した作品を展示し、生涯をかけて最上川を描き続けた画家・真下慶治の美の世界をご鑑賞いただける年度計画といたしました。

館長 西塚 裕樹